

2016年度第2回 一般社団法人日本箱庭療法学会研修会のお知らせ

主催：一般社団法人日本箱庭療法学会

日時： 2017年2月19日（日）10：00～16：30

会場： 京都リサーチパーク（京都市下京区中堂寺栗田町93）

ご挨拶

日頃、さまざまな心理臨床の現場に携わっておられる皆さまには、ますますご清祥のこととお喜び申し上げます。

2016年度第2回の全国研修会は、京都リサーチパークで開催致します。全体講演では、甲南大学の高石恭子先生に、「箱庭療法と風景構成法—垂直軸の観点から」という演題で、お話して頂きます。心を幾つかの層からなる構造体として理解する場合に、垂直軸の在り様はとても重要なものとなります。三次元および二次元のイメージ表現に見られる「垂直性」を提示して頂きながら、それが今日の心理療法にもつ意義について、豊かなお話をして頂けることと思います。

今回も、6つの分科会と、箱庭制作実習の分科会を1つ設けております。6つの分科会では、全ての分科会において、事例を募集しています。高石先生にも、「学生相談における箱庭・描画」という分科会を担当して頂きます。是非この機会に、皆さまから事例を提出して頂き、深い学びができることを願っております。また、箱庭制作実習の分科会では、当学会理事長の弘中正美先生と桑原知子先生に担当して頂きます。両先生に見守られながら、箱庭に触れ、箱庭を作るという体験を、この機会にして頂けたらと願っております。

皆さまのご参加を心よりお待ちしております。

2016年12月吉日

一般社団法人日本箱庭療法学会 研修委員長 川戸 圓

<開催要領>

1. 定 員：300名
2. 参加資格：以下の条件のいずれかを満たす方とします。
 - ①一般社団法人日本箱庭療法学会会員
 - ②箱庭療法を導入・または導入を検討中の児童相談所・児童養護施設等の心理職に従事されている方
 - ③箱庭療法を導入・または導入を検討中の学校等教育機関の保健・養護領域に従事されている方
 - ④心理臨床を専攻する大学院生
3. 参加費：学会員：4,000円 非会員：7,000円 大学院生（非会員）：5,000円
4. 研修ポイント：本研修会への参加は、臨床心理士教育・研修規定別項第2条(3)により、一般参加者は2ポイント、事例呈示者は4ポイント取得となります。

5. 研修内容

(1) 全体会：10：00～12：00

テーマ：「箱庭療法と風景構成法—垂直軸の観点から」

講師：高石 恭子氏（甲南大学）

概要：

心を層構造として捉えるとき、浅い—深い、高い—低いといった垂直軸が、理解の枠組みに自ずと含まれる。箱庭は3次元、風景構成法は2次元のイメージ表現であるが、そのそれぞれを垂直軸の観点からみたとき、私たちは表現者の心の世界にどのように接近しうるだろうか。昨今の心理臨床の現場では、必ずしも心の理解の共通基盤となりえない「垂直性」ということに焦点を当て、これまで発達研究や臨床実践のなかで出会ってきた作品をいくつか紹介しながら、これらのイメージ表現技法が今日の心理療法や臨床教育にもつ意義について、考えてみたい。

(2) 分科会：13：30～16：30

以下の7グループに分かれ、分科会を行います。

事例呈示を募集している分科会は、概要の最後に<事例募集>の表記のある分科会です。事例呈示の希望者は、参加申込書裏面に事例概要を記入のうえ参加申込をしてください。

● 第1分科会 河合 俊雄（京都大学こころの未来研究センター）

「イメージ媒体の選択」

心理療法において、この人には夢がよいのだろうか、箱庭がよいのだろうか、描画がよいのだろうか、あるいは描画でもスクイグルがよいのか色彩分割法がよいのか、と迷うことがある。さらには、ある方法でうまくいかなかったり、それによってくれなかったりしたのが、別の方法でうまく展開することがある。イメージの媒体をどのように選び、進めたらよいのかを検討したい。<事例募集>

● 第2分科会 川戸 圓（川戸分析プラクシス）

「ネット依存の問題とイメージ（箱庭・夢・描画）の関係を探る」

近年、ネット依存が問題となってきた。その問題をインターネット依存症あるいはオンラインゲーム依存症というように、「病」として捉えることも多い。実際に、ネット依存症・ネット中毒の治療を専門とするクリニック等々も出現している。DSM-Vでは、「インターネットゲーム障害」と判断するには、もう少し調査および研究が必要とされている。この分科会では、「依存症」と判断することには少し距離をおいて、この問題とイメージの関係性を巡りつつ、ネット依存の問題の本質にせまるための小さな1歩をすすめてみたい。皆さまに事例の応募をお願いすると同時に講師からも事例を出して、多様な面からの探索的な動きとなるような分科会としたい。<事例募集>

● 第3分科会 北口 雄一（北口分析プラクシス）

「「自分がない」をめぐる多様性について」

心理臨床において、セラピストがクライアントに対して「自分がない」と感じることもあれば、クライアントが自分自身のことを「自分がない」と体験していることもある。言葉では「自分がない」と同じ言葉であっても、発達障害をもつ方の「自分がない」もあれば、人格障害の水準の「自分がない」も、心身症をもつ方の「自分がない」もあるだろう。また、クライアント自身が「自分がない」と言葉にしている、セラピストから見ると十分自分があると感じられることもある。今回の分科会では、「自分がない」の多様性をテーマにしてみたい。<事例募集>

● 第4分科会 高石 恭子（甲南大学）

「学生相談における箱庭・描画」

今日の高等教育現場においては、学修時間の確保や就職に直結する技能の習得に重点が置かれ、じっくりと自己を見つめ、試行錯誤に潤沢な時間を費やすことが、以前より困難になっています。そのような中で、学生相談という個別教育の実践において、イメージ表現を積極的に用いた心理臨床の営みは、どのような意義をもつのでしょうか。本分科会では、箱庭や描画などを取り入れた学生相談事例の検討を通して、学生期の心の育ちの支援におけるイメージ表現の意義を考えてみたいと思います。1回のみの実施、継続的な実施、いずれでも結構です。箱庭や描画の導入が、相談経過の進展に影響をもたらしたと感じられる事例のご発表を募ります。

<事例募集>

● 第5分科会 田中 康裕（京都大学）

「発達「グレイゾーン」の見立てと心理療法—夢・箱庭・描画を通して—」

今日の心理臨床の場でクライアントを見立てる際には先ずもって、従来の「病態水準」という観点だけでなく、定型発達から非定型発達までに至る「発達スペクトラム」のどこに彼らを位置づけるかを吟味する必要がある。夢・箱庭・描画等のイメージは、心理療法の「枠」をさらに狭めるという意味で、言葉のやりとりだけではややもすると狭まるものになりがちで、発達「グレイゾーン」の事例の見立てと心理療法に有用である。経過の長短は問わないので、発達障害か否かの判断に迷った事例で、一つでも夢が報告された、箱庭が置かれた、あるいは、1回でも風景構成法やバウム、あるいはスクイグルを行ったというものがあれば、複数の事例提供を募りたい。＜事例募集＞

● 第6分科会 山口 素子（山口分析プラクシス）

「箱庭における「木」」

河合隼雄先生がカルフ女史のオフィスで初めて箱庭を作成した時、まず木が足りないと感じ、それに気づいた女史が早速木を作り始めたというエピソードを聞いたことがある。然様に日本人にとって木はなじみ深いものであり、近代化が進んだ現代の日本人の箱庭にも、木は当然のように出現していると感じる。そしてあまりに自然なため、背景として溶け込み、木そのものの意味をあまり斟酌することなく過ごすこともあるのではないかと。しかしもともと木は世界樹、宇宙樹からはじまり、強い象徴性を担ってきたことは言うまでもない。そこで今回は、木の象徴性を再確認し、箱庭における木の意味を再考したい。「木」が登場する箱庭、描画、夢等を含む事例を募集したい。＜事例募集＞

● 第7分科会 桑原 知子（京都大学） 弘中 正美（山王教育研究所）

「箱庭制作実習」

ふだん箱庭療法を使っておられる方でも、自ら箱庭に触れ、作品を作る機会はなかなかないものです。しかし、箱庭は、実際に作ってみることで初めてさまざまな「体験」ができるもののように思います。また、箱庭療法を取り入れようとお考えの方や、箱庭に触れ、作る体験がまだ十分ではないと思っておられる方たちにとってもよい機会になればと思います。ふるってご参加ください。なお、作品の記録が必要な方はカメラ等各自でご用意ください。

※この分科会は、クリエイションアカデミー（メルコム）社より箱庭用具の一部をお借りして行います。

各分科会会場につきましては、当日受付にて配布のプログラムにてお知らせいたします。

6. 参加お申し込みについて

- ・ 同封の参加申込書所定欄に必要事項をご記入の上、連絡用ハガキと併せて返信用封筒にてお申し込み下さい。連絡用ハガキには必ず住所・氏名をご記入の上、お手数ですが52円切手をお貼り下さい。
- ・ お申し込み受付は、原則として先着順とさせていただきます。
希望者多数の場合にはご参加いただけない場合もありますので、予めご了承ください。
- ・ 参加申込締切：2017年1月6日（金）必着

7. 参加の可否について

- ・ 申込締切後、連絡ハガキにて参加の可否をご通知致します。

8. 参加費振込みについて

- ・ 参加確定の連絡ハガキを受領後に、以下の口座に参加費を送金して下さい。
口座番号：00900-8-233788 加入者名：一般社団法人日本箱庭療法学会研修委員会
※振替用紙の通信欄には受付番号並びに「2016年度第2回全国研修会参加費」とご記入ください。
- ・ 参加費振込締切：2017年1月23日（月）（納入された参加費のご返金はできませんので予めご了承ください。）
- ・ 振込締切までに入金を確認した方には分科会番号・名前等の記載された名札カード・名札ケースをお送りいたします。当日は名札・名札ケースをご持参いただき、身に着けてご参加下さい。
*振込締切以降に参加費を入金された方につきましては、当日、受付にて名札をお渡しいたします。
*名札ケースは研修会終了後、返却下さいますようお願い申し上げます。

9. 研修会に関するお問合せ先

一般社団法人日本箱庭療法学会事務局気付「一般社団法人日本箱庭療法学会研修会」係

住所：〒541-0047 大阪市中央区淡路町 4-3-6 新元社内

FAX：06-6233-8529

E-mail：office@sandplay.jp

*お手数ですがメールまたは FAX にてお問合せください。

10. 会場案内



<交通アクセス>

■ 京都駅より (JR・近鉄・地下鉄)

- ・ JR 嵯峨野線 (山陰線) 丹波口駅下車 西へ徒歩 5分
- ・ タクシー 約 10分
- ・ 市バス 乗り場 C5
73 系統「洛西バスターミナル」行き / 75 系統「映画村・山越」行き (所要時間 15分) 「京都リサーチパーク前」下車 西へ徒歩 5分
- ・ 京都バス 乗り場 C6
84 系統「大覚寺・清滝」行き (所要時間 15分) 「五条千本」下車 西へ徒歩 5分
- ・ 京阪京都交通バス 乗り場 C2
21 系統、27 系統「桂坂中央」行き (所要時間 15分) 「京都リサーチパーク前」下車 西へ徒歩 5分

■ JR・丹波口駅より

- ・ 西へ徒歩 5分

■ 駐車場あり (630台、有料)

京都リサーチパークアクセスマップ <http://www.krp.co.jp/access/>